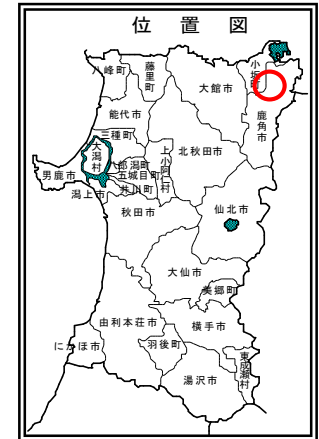


元気な中山間農業応援事業 成果表①

市町村	小坂町	地域名	小坂地域	地域区分	山間地域	中間地域	その他
プランテーマ	観光拠点を活用したグリーンツーリズムの推進						
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○国立自然公園「十和田湖」と、産業遺産群の芝居小屋「康楽館」や「小坂鉱山事務所」を有する観光地域で、東北自動車道のICもあることから利便性が高く、観光客も多い。 ○宿泊施設が少ないことから、通過型の観光で地域の活性化に結びついていない。 ○観光ブドウ農園施設の老朽化が進んでいることから対策が必要。 						



プランの概要					
策定年度	平成27年度（事業実施：27～28年度）				
目的	観光と農業を融合したグリーンツーリズムの拠点とするため、産業遺産群の一つの「小坂レールパーク」に簡易宿泊施設や観光ぶどう園を整備し、交流人口並びに販売額を増加させる。				
事業主体	小坂町				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	—	—	—	宿泊施設の旧寝台特急「あけぼの」の改修 ブドウ棚の整備、 スピードスプレーヤー	—
事業費（補助金）	39,038千円（補助金19,182千円）				
成果	従前（H27）		実施後（H30）		%
	交流人口：76,242人 ブドウ栽培面積：7.0ha		交流人口：81,974人 ブドウ栽培面積：7.3ha		—
	ブドウ販売額（ワイン加工含） 10,000千円		ブドウ販売額（ワイン加工含） 30,400千円		304



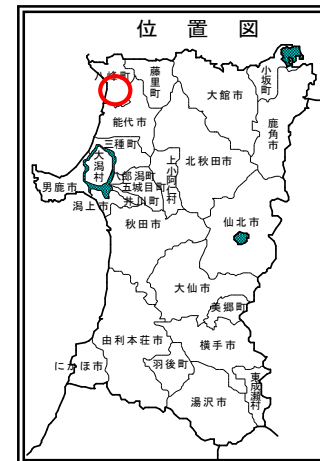
ライトアップされた宿泊施設



商品化されたワイン

元気な中山間農業応援事業 成果表②

市町村	八峰町	地域名	八森地域	地域区分	山間地域・ 中間地域	その他
プランテーマ	中山間部の畑地化を契機とした地域農業の創生					
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○小区画で狭小なほ場で、作業道も未整備、典型的な条件不利地域 ○担い手の高齢化・後継者不足が進み、年々、自己保全農地等が増加 ○地域農業の担い手として、平成26年に「農事組合法人真瀬ファーム」を設立 ○水稻を主体に、複合作物として新たにネギ、リンドウ等の品目を導入 					



プランの概要

策定年度	平成26年度（事業実施：27～29年度）				
目的	水田の畑地化（区画整理、土壌改良、暗渠の設置）を進めるとともに、新たな作目としてネギ等を導入し、収益向上を目指す。				
事業主体	株式会社真瀬ファーム 代表取締役 工藤 雅樹				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	土壌改良、区画拡大 (A=5.1ha)	パイプハウスの導入 作業機械の導入	—	—	オリジナルパッケージの作成
事業費 (補助金)	152,344千円 (補助金146,391千円)				
成果	従前 (H26)	→ 実施後 (H27)			%
	受益エリア内 水稻 1.82ha	長ネギ: 1.62ha リンドウ: 0.13ha			—
	農作物販売額 1,890千円	農作物販売額 10,225千円			541



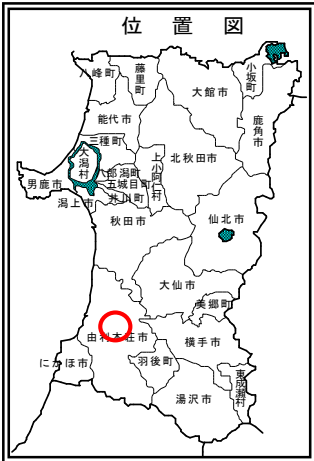
整備されたほ場に作付されるネギ



新規作目の導入で新たな雇用を創出

元気な中山間農業応援事業 成果表③

市町村	由利本荘市	地域名	由利地方の7地域	地域区分	山間地域 ・ 中間地域 ・ その他
プランテーマ	家畜市場を拠点とした肉用牛の生産振興				
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○古くから肉用牛が生産され、県内でも畜産が盛んな地域 ○平成24年4月に秋田県内3つの家畜市場が統合し、「あきた総合家畜市場」が開設され、県内一円の牛が上場されている。 ○これを受けて、近隣の地区では、肉用牛（黒毛和牛）を振興作目として位置づけ、繁殖用雌牛の導入や、新たな畜舎、堆肥舎整備を進める。 				



プランの概要

策定年度	平成26年度（事業実施：27～28年度）				
目的	肉用牛（黒毛和牛）の増頭と販売額の向上を図る				
事業主体	北内越、矢島、上川大内、直根、下郷、玉米、笹子地域の57経営体				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	—	繁殖雌牛（黒毛和牛）の導入、畜舎、堆肥舎の整備等	—	—	—
事業費（補助金）	316,009千円（補助金：158,918千円）				
成果	従前（H27）	➡		実施後（H30）	%
	肉用牛飼養頭数 959頭			肉用牛飼養頭数 1,503頭	157
	肉用牛販売額 624,849千円			肉用牛販売額 922,154千円	148



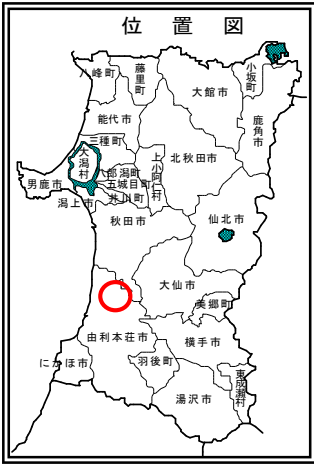
あきた総合家畜市場



黒毛和牛（鳥海山をバックに）

元気な中山間農業応援事業 成果表④

市町村	由利本荘市	地域名	北内越	地域区分	山間地域 ・ 中間地域 ・ その他
プランテーマ	農業法人を中心とした水稻生産体制の再編と複合型農業への取組				
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○平坦部は圃場整備が完了しているが、山間部は沢入地で未整備田となっている。 ○地域では、水稻を主体に、大豆、野菜、花き、畜産（肉用牛）に取り組む農家が多いが、近年は米価の下落によって所得が減少傾向にあり、農業者の高齢化等が課題。 ○平成27年に、地域の農業の担い手として集落型農業法人を設立。 				



プランの概要					
策定年度	平成27年（事業実施27～28年度）				
目的	農業法人に農地を集約化し、水稻の大規模化を進めるとともに、新規作物を導入し、収益を確保を目指す				
事業主体	農事組合法人 A（構成戸数13戸） 地域内総水田面積116ha、うち法人集積面積32ha（集積率27.2%）				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	—	ビニールハウス4棟、アスパラガス新植等	田植機、コンバイン、直播種子コーティングマシン等	—	—
事業費（補助金）	15,951千円（補助金：5,707千円）				
成果	従前（H26）		実施後（H28）		%
	水稻作付面積：24ha アスパラガス栽培面積：0a		水稻作付面積：26ha アスパラガス栽培面積：32a		—
	農作物販売額 16,127千円千円		農作物販売額 32,605千円		202



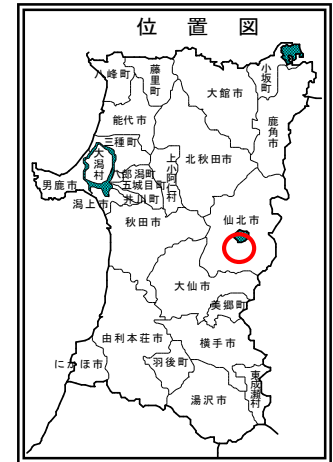
導入されたコンバイン



半促成アスパラガスのビニールハウス

元気な中山間農業応援事業 成果表⑤

市町村	仙北市	地域名	白岩	地域区分	山間地域 ・ 中間地域 ・ その他
プランテーマ	機械化一貫体系の整備を核としたネギの生産拡大				
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○平地が少なく、ほ場の小区画で分散しており、大規模な規模拡大が困難。 ○農業従事者の高齢化が進み、担い手不足が深刻。 ○新たな品目として、県の推奨作物のネギの作付けを進めるため、地域の農業者が、機械化一貫体系の確立を目指す 				



プランの概要

策定年度	平成28年度（事業実施：29年度）				
目的	コメに代わる新たな部門を確立するため、県推奨品目のネギを導入し機械一貫体系を確立しながら収益の確保を図る				
事業主体	地域の認定農業者 3戸				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	—	ネギの機械導入（移植機、管理機、収穫機、根切り機、マルチスプレヤー、予冷库等）	—	—	—
事業費（補助金）	7,968千円（補助金：3,688千円）				
成果	従前（H27）	→	実施後（H30）	%	
	ネギ作付面積 468a		ネギ作付面積 598a	127	
	ネギ販売額 25,198千円		ネギ販売額 30,644千円	122	



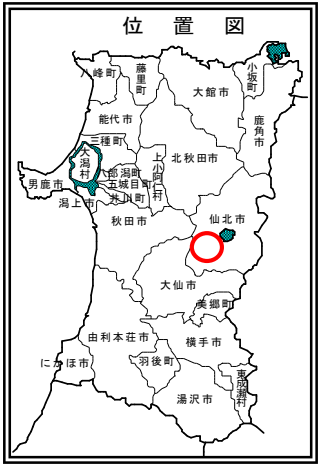
導入された苗移植機



良好な生育を示すネギほ場

元気な中山間農業応援事業 成果表⑥

市町村	仙北市	地域名	中川、白岩、生保内、西明寺、桧木内	地域区分	山間 中間地域
プランテーマ	新たな転作作物「ニンニク」の導入と産地の形成				
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○平地が少なく、ほ場の小区画で分散しており、大規模な規模拡大が困難。 ○農業従事者の高齢化が進み、担い手不足が深刻。 ○新たな品目として、「ニンニク」を位置づけの作付けを開始。 ○新規栽培者を募るとともに、年々作付面積が増加している。 ○数年後を目処に、種苗生産から本格生産への移行を目指す。 				



プランの概要

策定年度	平成27年度（実施年度：平成27，28年度）				
目的	新たな転作作物として「ニンニク」の産地形成を図る				
事業主体	個人農家8戸				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	—	収穫機、作業舎、管理機、選別機、収納ハウス等	—	—	—
事業費（補助金）	30,766千円（補助金14,330千円）				
成果	従前（H27）	➔		実施後（H30）	％
	栽培面積 0a			栽培面積 331a	—
	農作物販売額 0千円			農作物販売額 3,295千円	—



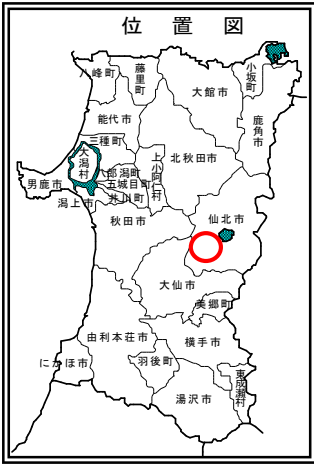
山間にひろがるニンニク生産ほ場



収穫間際の状況

元気な中山間農業応援事業 成果表⑦

市町村	仙北市	地域名	西明寺・中川・雲沢・生保内・桧木内	地域区分	山間・中間地域
プランテーマ	冷涼な気候を活かした花き産地の形成				
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○山間または中間地域に該当する仙北市のエリア。 ○いずれの地区の地域資源活用プランにも、新たな品目として「リンドウ」が位置づけられ、花き産地の形成が図られている。 ○1戸あたりの平均栽培面積は33aで比較的小規模であるが、10a当たりの販売額は約1,300千円と高く、年々栽培面積が拡大している。 				



プランの概要

策定年度	平成27年度（実施年度平成27、28年度）				
目的	水稻に代わる新たな複合品目として「リンドウ」を位置づけ、高収益型の花き産地の形成を図る				
事業主体	個人農家9戸、農業法人2法人の11経営体				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	—	リンドウ新植、支柱ネット管理機、防除機等	—	—	—
事業費（補助金）	19,964千円（補助金9,308千円）				
成果	従前（H27）	→		実施後（H30）	%
	栽培面積 227a			栽培面積 367a	162
	農作物販売額 15,897千円			農作物販売額 47,499千円	299



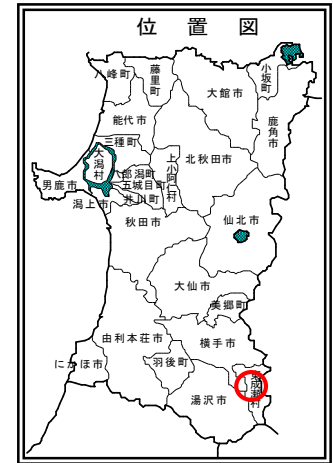
山裾に広がるリンドウ産地



日中と夜間の寒暖差が高品質な花き生産に不可欠

元気な中山間農業応援事業 成果表⑧

市町村	東成瀬村	地域名	東成瀬	地域区分	山間地域 ・ 中間地域 ・ その他
プランテーマ	地域資源を生かした新たな特産品づくりへの挑戦				
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○零細なほ場が多い山間地域で、標高も高く冷涼な気候 ○宮城県と接し栗駒山国定公園の秋田県側の玄関口となっている。 ○水稻を主体に、野菜、花き、肉用牛（短角牛）への取組が拡大中。 ○近年は、トマトや平良カブ（大根）等の農産物を活用した加工品づくりも盛ん ○担い手の高齢化が進んでおり、担い手不足が課題 				



プランの概要

策定年度	平成26年度（事業実施：27～29年度）				
目的	平成24年に12月に設立した新たな農業参入企業として、水耕栽培（サニーレタス、サンチュ）を始め、更なる収益確保のため、大根の生産・加工、並びに販売で収益向上を目指す				
事業主体	なるせ農園株式会社 代表取締役社長 谷藤宏幸				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	—	—	—	肥料散布機、ブロードキャスター、運搬機、収穫機、コンテナ、加工所1棟、成分分析、ラベル作成等	—
事業費（補助金）	10,574千円（補助金：4,894千円）				
成果	従前（H26）	➡		実施後（H30）	%
	大根作付面積 20a			大根作付面積 350a	1750
	農作物等加工品販売額 350千円			農作物等加工品販売額 15,000千円	4200



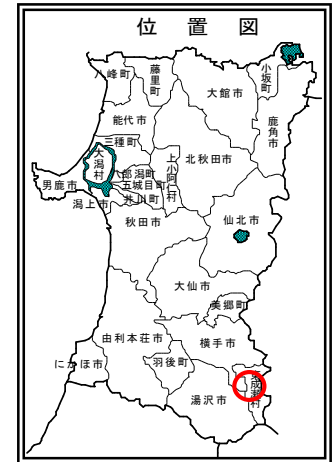
整備された加工所（いぶり施設）



新たに商品化された仙人の里「いぶりがっこ」

元気な中山間農業応援事業 成果表⑨

市町村	東成瀬村	地域名	東成瀬	地域区分	山間地域 ・ 中間地域 ・ その他
プランテーマ	新たな花き「リンドウ」産地の形成				
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○零細なほ場が多い山間地域で、標高も高く冷涼な気候 ○宮城県と接し栗駒山国定公園の秋田県側の玄関口となっている。 ○水稻を主体に、野菜、花き、肉用牛（短角牛）への取組が拡大中 ○平成27年以降、新規でリンドウの生産に取り組み、現在、栽培面積が増加 				



プランの概要

策定年度	平成26年度（実施年度 平成27, 28年度）				
目的	新たな転作作物として「リンドウ」の導入を図る。				
事業主体	個人農家7戸、農業法人1戸の計8経営体				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	—	リンドウの支柱、ネット、管理機	—	—	—
事業費（補助金）	7,296千円（補助金3,325千円）				
成果	従前（H26）	➔		実施後（H30）	%
	栽培面積 42.5a			栽培面積 106.5a	250
	農作物販売額 4,250千円			農作物販売額 10,236千円	241



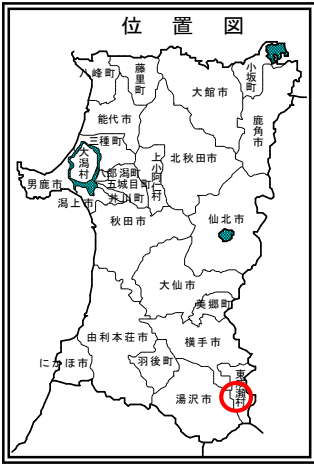
ひろがるリンドウ栽培ほ場



支柱やネットの導入が進められる

元気な中山間農業応援事業 成果表⑩

市町村	東成瀬村	地域名	東成瀬	地域区分	山間地域 ・ 中間地域 ・ その他
プランテーマ	夏山冬里方式による伝統の「なるせ赤べこの里」の復活				
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○零細なほ場が多い山間地域で、標高も高く冷涼な気候 ○宮城県と接し栗駒山国定公園の秋田県側の玄関口となっている。 ○水稻を主体に、野菜、花き、肉用牛（短角牛）への取組が拡大中 ○かつて生産されていた「赤べこ（日本短角種）」の復活のため、平成24年度より村事業で増頭中。 				



プランの概要

策定年度	平成26年度（実施年度 平成27，28年度）				
目的	日本短角牛の導入を図り、産地の再形成を図る				
事業主体	株式会社 赤べこ仙人ファーム				
事業項目	水田の畑地化	生産体制強化	水稻生産体制再編	6次産業化	特産品づくり
事業内容	—	繁殖雌牛の導入	—	—	—
事業費（補助金）	25,561千円（補助金11,826千円）				
成果	従前（H26）	→		実施後（H30）	%
	飼養頭数 108頭			飼養頭数 444頭	411
	農作物販売額 32,280千円			農作物販売額 74,505千円	230



夏山 放牧場での飼育



冬里 畜舎での飼育